

インダクタ(コイル・トランス)の特性検査

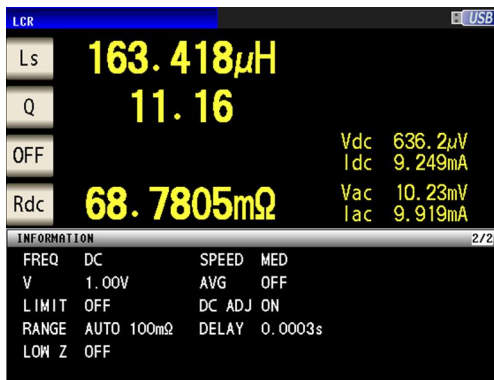
インダクタのL-Q,RS(実効値抵抗),DCR(直流抵抗)測定を1画面で表示します。
又、鉄芯入りコイルなどの電流特性グラフを1画面で表示します。

■ ポイント

- インピーダンスアナライザIM3570は、4Hz～5MHzと広範囲な測定周波数で測定できます。
- DC～5MHzと広範囲な測定周波数で使用できる4端子プローブL2000を使用します。
- LCRモードではL-Q、RS(実効値)測定、DCR(直流抵抗)測定を4項目まで1画面に表示します。
印加電圧によってインダクタンス値が変化する素子は定電流で測定します。
- アナライザモードの電流のスweep機能により電流特性をグラフ表示します。



- DCRとLQ,RSの測定は、LCRモードで測定条件を設定し測定します。
- 電流特性は、アナライザモードのスweep機能で変化させる電流範囲を設定し測定します。



3項目表示の例
(LCRモード)



電流特性の測定例
(アナライザモード)

使用機器

インピーダンスアナライザ IM3570	¥ 780,000 (税抜き)
4端子プローブ L2000	¥ 80,000 (税抜き)

記載内容は2010年7月現在のものです。仕様、価格等はお断りなく改正・改訂することがあります。